

須々万地区同和教育推進協議会より

まちづくり推進協議会

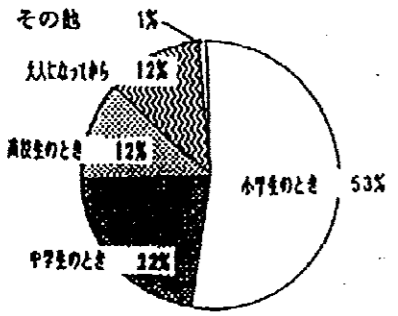
会長 小田 敏雄



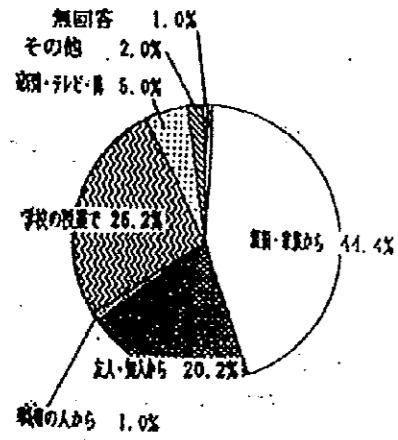
地正だより
すすすま

第44号
平成8年2月5日
須々万地区人口 5006人
世帯数 1611世帯
発行 平成7年12月末現在
須々万地区まちづくり推進協議会
須々万公民館

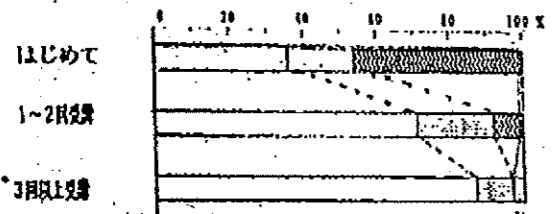
(図1) 同和問題を始めて知ったのはいつですか



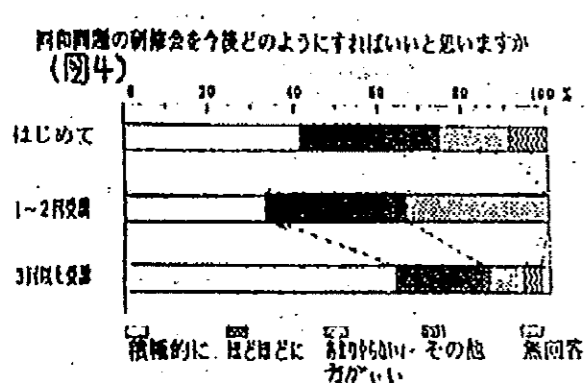
(図2) 同和問題について始めて知ったのは何から(誰から)ですか



(図3) 同和問題の解決についてどのようにお考えですか



(図4) 同和問題の解決を今後どのようにすればいいと思いますか



(同和問題を考える集い開催される)
平成7年12月14日、農村環境改善センターで「同和問題を考える集い」を開催しました。当日は85名の参加があり、ビデオ「心のどこかに」を上映後、柳井市の新田清昭先生に「人として」の演題でご講演をいただきました。また、同和問題解決に向けて今後の教育・啓発活動の効果的な推進を図るために参加者を対象にアンケート調査を実施しました。その結果は次のとおりです。

図1、図2から、同和問題について知らないと答えた参加者はなく、ほとんどの人が「親類・家族・友人・知人」から義務教育終了までに知ったと答えています。もし何も知らない状態の人に間違っていることが言い伝えられたらどうなるでしょうか。人は一番最初に入ってきた情報を信じやすいため間違った言い伝えが後世に残ることにもなりかねません。そのため、皆さんに正しい理解をしていただくため、同和教育を推進していくことが大切なのです。

図3、図4については研修会等への参加回数による理解度とその取り組みの姿勢についての問いに対するものですが、図3のように解決に向けての姿勢についても研修会等への参加回数が多い人ほど市民の一人として努力すると積極的な答えをしているのに対し、参加回数の少ない人ほどゆきまかせたいなどの消極的な答えが多く見受けられました。また、図4の今後、研修会等をどのようにすればよいかの問いに対しても、参加回数が多い人ほど積極的に答えているのに対し、参加回数が少ない人ほど消極的な答えが多く見受けられました。この点から、参加回数が多い人ほど理解度が高く積極的に解決に努力しようとしているのに対して、参加回数の少ない人ほど理解度がひくくまた、解決について消極的であると思われる。また、同和問題について知っていると思えながらも、正しく理解できていない人が参加回数の少ない人ほど多く見受けられました。

正しい理解を深め、他人ごととするのではなく自らの問題として学習を積み重ねていくことが必要です。須々万地区同和教育推進協議会では今後とも「同和問題を考える集い」だけでなく公民館と連携をとりながら学級や講座などを積極的に開催し、同和教育を推進していきたいと思っております。皆さんのご参加よろしく申し上げます。
なお、須々万地区同和教育推進協議会の事業以外にも毎年教育委員会同和教育室主催の「同和教育指導者養成学級(須々万学級)」や公民館主催の学級もありますので是非ご参加ください。

二十一世紀まであと五年。敗戦から立ちあがった日本人は高度成長をとり、繁栄と豊かさの中に生きてきました。

しかしバブル景気崩壊後の不況の中での災害と社会不安、政治の不安定、不確実の時代といわれている今、日本人の生き方が問われています。

須々万の人口は十二月末で五千六名となり鹿野町より多くなりました。

人口増加は活力のある住み良い地区の証でしょう。

須々万地区まちづくり推進協議会も今年で十五年になります。

住み良い須々万をつくるために、住民の意見を聞きながら各種団体が力を合わせ、教育施設、生活環境の整備、各種年間行事の開催等を行なってまいりました。

一年前の阪神大震災は、近隣の人々の助け合いの大切さを私達に教えました。

住み良い須々万にするために子供からお年寄りまでみんなが互いに声をかけ合いふれあいを大切にし助けあって「ここに住んで良かった」と誰もが思える須々万をみんなで建設していきましょう。

20歳 おめでとう

平野 友絵 (肝要)
成人式を終え二十歳になったという事を改めて実感しています。私にはあと二年間の学生生活が残っていますが、自分の将来について真剣に考えなければならぬ時期となりました。今は自分の就きたい職業は何か、そのためにこれから何をすべきか、などと思い巡らせています。同時にまだ学生とはいえ成人として自分の行動には責任をとることができるよう心掛けたいと思います。

田勢 幸誠 (西殿)
僕は高校を卒業してすぐ社会人の仲間入りはしていましたが、未成年ということでもプレッシャーを感じていました。しかしこの春からは自由になつたわけですから、その自由の意味をはき違えないよう自覚と責任を持ち大人社会を満喫したいと思っております。

消防出初式に参加して

須々石婦人防火クラブ

去る一月五日新春恒例の徳山市消防出初式が行われ、須々石婦人防火クラブ員30名が参加いたしました。初めてのことで期待と少しばかりの緊張も入りまじり消防団員の方々と一緒に文化会館へ向う式典に各地から参加された団員、婦人消防隊、幼・少年、婦人消防クラブ、企業自衛消防隊の皆さんがそれぞれの制服で一室に会し整然としたふんいきの中で永年勤続の表彰を受けられる団員お一人、お一人の節度ある態度には、大変感動いたしました。式典終了後、陸上競技場に於いて観閲式が行われ約700名の参加者と消防車36台の勇壮な大行進……。又出初式を締めくくる一番放水では常日頃の訓練を暮のめりにし消防に携わって下さる方々の御苦労を痛切に感じ改めて火災について一人一人が再認識し火をおさぬように心がけたいと思いました。

子ども会風揚げ大会結果報告

- | | | | | | |
|------------|-------|-------|----------------|-------|-------|
| 高揚賞 | 低学年の部 | 高学年の部 | アイデア賞 | 低学年の部 | 高学年の部 |
| 第一位 | 西村 豊 | 藤井陽之助 | 第一位 | 有馬 久恵 | 中村征司 |
| 第二位 | 岩崎大悟 | 西村一寛 | 第二位 | 佐野祐貴 | 竹内啓太 |
| 第三位 | 岩本和之 | 國廣與夢 | 第三位 | 有馬克洋 | 國廣與夢 |
| 特別賞 | 内山裕介 | | 子ども会会長賞 | 岸村祥太郎 | |

<u>行事予定</u>	<u>健康相談</u>
第24回 周北武道大会 2月11日(日)	2月1日(木)
須々石地区 体育振興会スキーバス 2月25日(日)	3月7日(木)
	<u>育児相談</u> 2月8日(木)

民生委員・児童委員 改選される

昨年12月1日で3年間の任期満了に伴う民生委員・児童委員9名が改選(再任)されました。

委員は厚生大臣の任命により地区内で各々担当区域をもち、相談援助活動を行います。個人の人権を尊重し秘密を守り心配ごと、子供、家庭、老人問題等に関する援助、指導など行政等へのパイプ役として大切な役目をもっています。お気軽にご相談下さい。

これから3年間 よろしくお願ひします

委員氏名	住所	電話	担当区域
桑田 旭	井手下	88-0680	奥光・井手下・下本城・上本城
小田 敏雄	西殿木原	88-0192	西殿木原・新引・新屋台
広林 友三	東和奈古	88-0216	東和奈古
中村 忠行	上牛の毛	88-0748	上牛の毛・下牛の毛・高樋
佐伯 節子	下市	88-0012	東殿木原・下市
山下波留子	西和奈古	88-0209	一の坂・西和奈古
藤井 富美	片地上	88-1898	片地上・肝要
道源 隆子	山手	88-1230	山手
清水 妙子	友国	88-1107	上若・友国・上市・中市
河村和枝	上牛の毛	88-2026	主任児童委員 全域